

謹賀新年



一般社団法人
群馬県造園建設業協会

会長
荻原 武一

新年あけましておめでとうございます。お健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、暑い夏で造園管理作業は大変でした。暑い最中のロンドンオリンピックに於いての日本選手は大活躍で、夜中までTVを観ての応援でした。なでしこジャパンの銀メダルで盛り上がり、本県からの千田、淡路両選手もフェンシング団体で銀メダルと、合計38個のメダルを取り、喜びに浸る事が出来ました。

さて、当協会も公益法人制度改革に伴い、4月1日をもって一般社団法人群馬県造園建設業協会として発足いたしました。これもひとえに会員皆様の御協力の賜物と心より感謝申し上げます。役員体制も副会長3人制として各委員会に協力し、実のある事業の推進を図る所存であります。事業については、緑豊かなまちづくりの推進と県民の緑化意識の高揚を図る緑化推進事業と、造園技能士や街路樹剪定士等の資格取得を支援することなどにより、業界全体のレベルアップ・人材育成を図り、県民の緑豊かな住環境の向上に資する事業、地域の清掃ボランティア活動を通して環境美化を推進し、更に県民・地域とのつながりを構築する社会貢献事業を基本方針として進めてまいります。『全国都市緑化ぐんまフェア』の理念を将来へと『花と緑の群馬づくり・ふるさときらきらフェスティバル2012』の前橋会場に於いては、清掃活動、モデル庭園の展示等積極的に参加、好評を得ました。今年伊勢崎の波志江沼環境ふれあい公園を中心に実施予定であります。昨年10月には開催地の清掃活動をし、フェスティバル参加への心構えを新たにしました。

群馬県が主催『花と緑の群馬づくり推進協議会』の街中緑化推進検討部に『群馬県造園団体協議会』の会員として一昨年より協力し、今年は高崎市に於いて実施成果を上げることが出来ました。6月の台風に於いては、災害防止協定により群馬の森の風倒木の処理に出動し無事に対処、協力することが出来ました。

長引く景気の低迷による影響は我々の造園事業には大きな打撃を受けましたが、新年度の予算措置で新規事業、街路樹管理に関する予算の確保・造園業者への発注に期待するところです。厳しい経済状況の中ではありますが、会員各企業の御発展をお祈り申し上げまして、新年の挨拶とします。



群馬県知事

大澤 正明

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかな新春をお迎えのことと思います。

東日本大震災から1年10カ月が経とうとする中、被災地ではさまざまな困難に立ち向かい、復興への歩みが進められています。県としても、被災された皆様への支援に、引き続き努めてまいります。

昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、ユネスコに推薦する世界遺産候補に決定し、26年度の世界遺産登録に向け、大きな一歩を踏み出しました。

円高や震災などが影響し、低迷が続いていた県内経済は、持ち直しの動きも見られるようになりましたが、最近の海外経済の情勢による影響が懸念されています。

昨年夏の「ググッとぐんま観光キャンペーン」では、期間中、県内外から多くの観光客が訪れました。企業誘致も、北関東自動車道の全線開通や自然災害への強さなどから順調に進み、昨年の企業立地状況は全国トップクラスでありました。県内景気の回復が本格的なものとなるよう、全力で取り組んでまいります。

さて、昨年県では、人口が減少していく中でも誰もが暮らしやすい「ぐんまらしい持続可能なまち」の実現に向けた基本方針や取組を定めた「ぐんま“まちづくり”ビジョン」を策定しました。基本方針の一つに、『地域の誇れる個性・景観・暮らしを支える機能を整えた魅力的な「まちのまとまり」づくり』を掲げており、良好な景観形成、緑化の推進には造園建設業協会の皆様の協力が必要不可欠です。

第5回目となる『花と緑のぐんまづくり2013』が、本年4月20日から5月19日まで伊勢崎市で開催されます。「集(つどい)・交(まじわり)・繋(つなぐ)」をテーマに、“みんなで織りなす花と緑”の伊勢崎市から群馬の元気を発信し、魅力ある観光資源とともに美しい花と緑でたくさんの方をおもてなししたいと考えております。

これからも、県総合計画「はばたけ群馬プラン」を着実に推進し、「対話と協調・現場主義」を貫き、群馬がさらに大きくはばたくよう、県民の皆様とともに県政を進めてまいります。

皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



群馬県議会議員

中沢 丈一

新年明けましておめでとうございます。

昨年11月上旬、中国上海に行ってきました。目的は、群馬県が上海に事務所を設ける予定があること。上海に、群馬県内から多くの企業が進出しており、現地の経営・経済活動調査のため。また、群馬県の温泉地のPRのためと、観光誘客の対応についての調査でありました。中国と日本が、尖閣諸島問題で関係が悪化している時だけに、上海日本領事官にお会いし中国事情もよく伺いました。

さて、私は、久々の上海でありました。空港から市内に向かう折、万博跡地の周辺には、公園、街路樹、植栽が多く見られました。工業団地、住宅団地の造成には目を見張る物がありました。周辺の植栽の多さには驚きました。早朝、市内をジョギングすると整備された公園で太極拳を舞っていました。上海は、かつてフランス領だっただけに、プラタナスの街路樹が大きくなりバリ市内の雰囲気を感じられました。そして、充実した上海市民生活を見てまいりました。

今、地球環境の保全や身近な生活空間の改善、緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と、美しい景観の創造を求めるとき、造園建設業協会の果たす役割は大きなものがあります。

平成25年、群馬県造園建設業協会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りし新年の挨拶いたします。



群馬県議会議員

久保田順一郎

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎え、皆様におかれましては健やかなる新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

昨年末は第46回衆議院議員選挙が行われ、新たに発足した新自民政権には、より希望に満ちた日本の国造りに向けて第一歩を踏み出してもらいたいと思います。

さて、本年も群馬県では様々な施策を進める中、以下の2つについてご紹介させて頂きたいです。

1つには、本年4月より導入実施が予定される「ぐんま緑の県民税(仮称)」について「森林環境税導入に関する特別委員会」で検討が進められております。これは多くの県がすでに導入している目的税ですが、電気代やガソリン重油代が値上げされ、消費税率の引き上げが予想される中の導入にはより慎重さが必要とされます。しかし、事実上、林業が崩壊し群馬の林野を守る確固たる手段は林業公社の倒産と共にもはや無くなったと言っても過言ではないでしょう。環境保全の要である第1次産業としての林業の自立にはもうしばらくの時間が必要と思われれます。これには森林山地だけでなく里山平地林や竹林の整備予算も利用目的に入りますので、都市部の緑化推進の一助にもなると思われれます。多くの県民皆様にご理解とご協力をお願いするものです。

2つめは中国の「群馬県上海事務所」の設置です。観光誘客と進出企業支援、物産輸出支援の3点を目的に本年4月以降活動を進めていくもので、本年度の県議会「国際戦略対策特別委員会」で様々な事前調査を進めてまいりました。昨年も紹介しましたが中国のどの都市に行っても緑地帯整備状況は目を見張るものがあり、都市周辺の緑化木の圃場は広大です。盆栽の高値が続く中国で物産交易振興に造園も輸出産業の一つに加えることが出来るのではないのでしょうか。

現在、県経済活性化と雇用問題対策は最優先の課題です。厳しい経済環境の中、智恵を絞り出して切り開いていくことが今後の行政や産業界の生き残る道となるでしょう。会員皆様の益々のご活躍とご発展を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



群馬県議会議員

橋爪 洋介

群馬県造園建設業協会の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。本来であれば昨年は復旧、復興の一年であるべきでしたが、残念ながら期待される成果は「未だ道半ば」といったところでありました。また、貴協会におかれましては、震災以降の継続した被災地支援活動にご尽力されますことに、深く敬意を表するものであります。一日も早い復興を心より願っております。

さて、この原稿が皆様のお目に触れる頃には、新たな政権が誕生しているかと思えます。「コンクリートから人へ」のマニフェストを基本に運営された前政権下では政権交代直後に、「国道の雑草が伸び放題」になっていたことは極めて象徴的で、政権とともにこの国の良き「国柄」までも奪われた感がありました。

「公共事業」とは何かを考えるときに単に「ムダをなくす」という論理が全てとは言えないが、あてはまらないことが実証されました。地方、地域にとっては予算を運ぶ血液であり、肉となる「公共事業」は良質な血液を経験豊富な技術力で治療を加え、あたかも地域の健康状態を保つ大切な役割を担っているようでありました。一度壊されたこの国土、県土を住んでいる人たちが、真に望む姿に戻すこと、次世代に誇れる郷土を駆け足で再生しなければなりません。このような中で貴会の果たすべき役割、及ぼす貢献はたいへん大きなものであります。また、東日本大震災により国民の防災面に対する関心度は高まりました。一方では自然美、都市景観、温暖化防止対策、基本的な道路整備など、公共事業は景気対策だけでなく、多面的な機能を備えていると言えるでしょう。今までの「絆」を更に深めて、皆様の今年一年のご多幸と、貴協会のご繁栄を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

